

日 時	タイトル名	場所・座席	料 金	チケット 発売場所	未就 学児
2/13 (土)	開演14:00 (開場13:30) 奈良フィルサロンコンサート 音楽の土曜日 vol.178 ～魅惑のラテン～	レセプション ホール 全席自由	2,000円 ※ドリンクの提供は控え させていただきます。	発売中 [ホ] ※定員の 50 人になり次第 締切。	×
	出演: 外園 美穂 (ヴァイオリン)、岡野 弥生 (ピアノ)、小川 悟史 (パーカッション) 曲目: エル・チョクロノアンヘル・ビジョルド、ジェラシーノヤコブ・ゲーゼ、ブラジル ほか				
3/27 (土)	開演14:00 (開場13:30) 奈良フィルサロンコンサート 音楽の土曜日 vol.179 ～連弾で世界一周旅行～	レセプション ホール 全席自由	2,000円 ※ドリンクの提供は控え させていただきます。	2月13日(土) 10時～ 発売 [ホ] ※定員の 50 人になり次第 締切。	×
	出演: 岡野 弥生 (ピアノ)、松下 寛子 (ピアノ) 曲目: ラプソディ・イン・ブルーノガーシュウィン、ドリー組曲よりノフォーレ、日本の四季より中田喜直 その他、レ・フレール、鬼滅の刃など様々な国やジャンルの曲をお届けします。				

※チケット欄の記号=発売場所 [ホ]: やまと郡山城ホール窓口



市長てくてく城下町 185

「日本の伝統文化「根付」～第9回水木十五堂賞に寄せて～」

大和郡市長 上田 清

幕末の新選組で有名な京都壬生に、立派な武家屋敷を修復し、平成 19 年に開館した「京都清宗 根付館」があります。

根付というのは江戸時代、印籠や煙草入れなどの提げ物を携帯する際、それをひもで帯に通した後、もう一方の先に取り付けて留めるために発明された小さな道具で、象牙や鹿の角、陶磁器や木、金属などに繊細でみごとな彫刻が施されています。日本人特有の器用さで生まれた、世界に誇る伝統工芸、芸術、文化ではないでしょうか。

根付館の創設者で館長の木下宗昭さんは、この根付に魅了され、これまでに 5 千点以上を集めるとともに、わが国の大切な文化でありながら外国に流出してしまっていた根付の買い戻しや、現代の根付作家の育成にも力を注いでおられることが高く評価され、第9回水木十五堂賞をお受けいただくことになりました。

誠にありがとうございます。

せっかくの機会ですので、先日、清宗根付館に初めてお伺いしたのですが、江戸時代から現代に至るあらゆる種類の根付に圧倒されました。

根付は、おらかな作風の京都派と粋と洒落の心を重んじた江戸派の両輪で花開いたそうです。

その古典根付にはユーモアやウィット、遊び心に満ちた作品や、それぞれの時代や生活を鋭く切り取った作品も数多くあったのですが、現代根付にもアマビエやコロナ封じなど今の人々の思いをテーマとするものがあり、伝統

文化の精神が脈々と受け継がれていることに感動しました。

今回は時節柄、式典などは行わず受賞記念展示会を令和 3 年 1 月 28 日(木) から 2 月 4 日(木) まで、DMG MORI やまと郡山城ホールで開催する予定です。



三つの車 おお怖や



飛脚 疾る



祝い酒